

5Gが距離を無くす、5Gが地域の目となり、地域と全国をつなげる架け橋になる

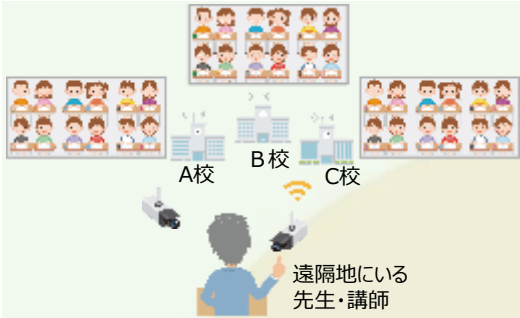
提案者名 金沢学院大学、金沢ケーブル株式会社

連絡先 w.kobayashi@kanazawacable.jp

地域5Gインフラは教育の手助けとなり、安全・安心な地域作りと、全国・世界へつながるワクワクをもたらします

① 遠隔授業・地域連携スクール

・4K8Kライブカメラと4K8K高精細モニタで遠隔授業



- ◎ 情報格差、教育格差の解消
- ◎ 教職員の働き方改革

③ セキュアなオープンスクール

・4K8K監視カメラによる顔検知システム

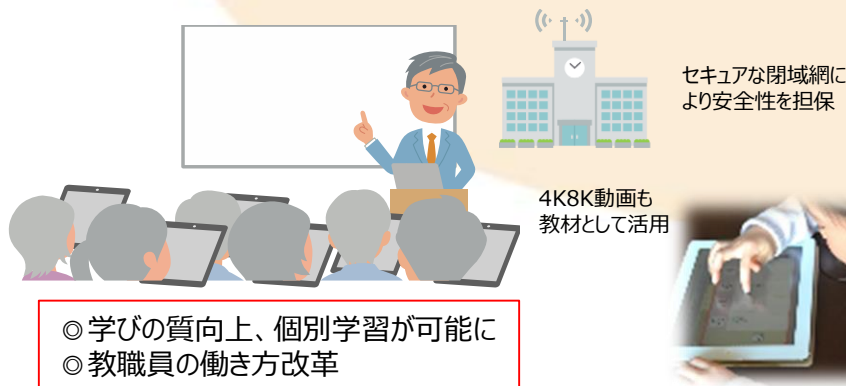


- ◎ 地域の安全・安心に寄与
- ◎ 教職員・保護者の負担軽減

地域5Gインフラ

② スムーズなICT教育環境

・数ギガの電子教材を数百台にストレスなくダウンロード



- ◎ 学びの質向上、個別学習が可能に
- ◎ 教職員の働き方改革

④ イベント開催

・取り外し可能なマルチアングルシステムの有効利用



- ◎ 可動式システムにより、簡単にどこでもマルチアングルが可能
- ◎ システムがある場所に → 人が集まる場所にシステムが移動する

5Gが距離を無くす、5Gが地域の目となり、地域と全国をつなげる架け橋になる

提案者名

金沢学院大学、金沢ケーブル株式会社

連絡先

w.kobayashi@kanazawacable.jp

スクールオリンピック2020

「東京2020オリンピック」に地方から参加できる体験型ワクワクイベント



メインスタジアム



A校 運動場



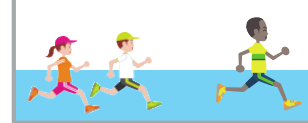
B校 運動場



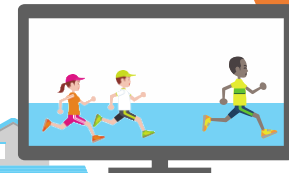
リプレイ検証中
リプレイ検証中

A校、B校イベント会場

スクオリ2020 放送中



児童・生徒があたかもメイントラックで走っているように見える



ケーブルテレビでも即時配信

地域5G
インフラ

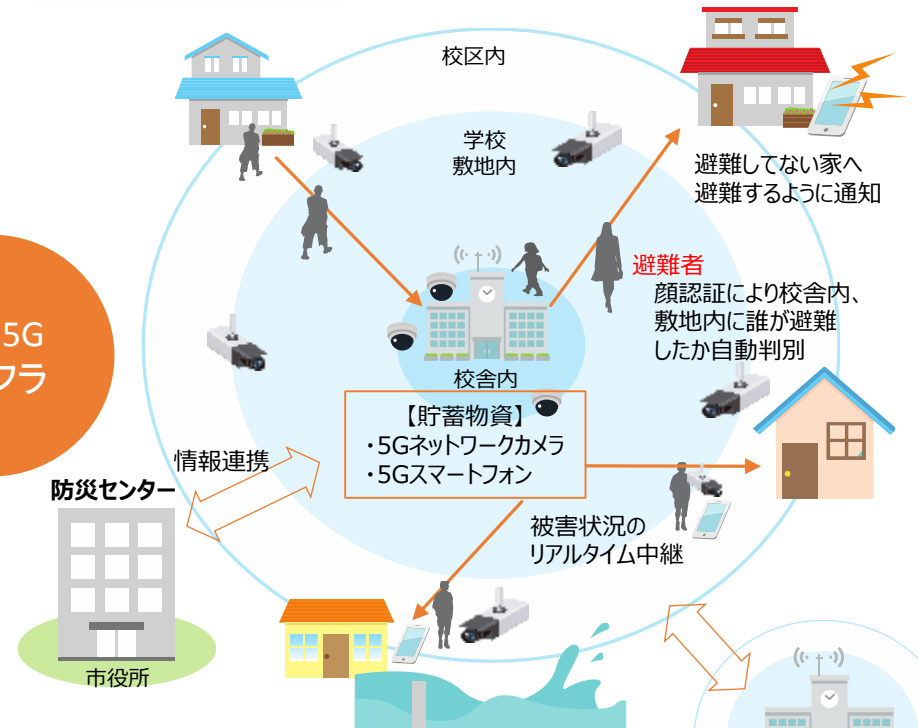
- ①100M走のスタートをオリンピック会場、A校、B校と同時に行う
- ②リプレイ検証時間内で高速映像統合
- ③各会場の大型スクリーンに統合された画像が放送される
- ④ケーブルテレビのコミュニティチャンネルでも同様に放送

可動式マルチアングルシステム、5Gによる高速伝送



防災システムへの活用

平常時は「セキュアなオープンスクール」
災害時は拠点避難所の中核として、「地域5Gインフラ」を活用する



- ①避難者情報の自動解析
- ②貯蓄物資による被害情報の確認
- ③防災センター、他の避難所との情報連携

4K8K監視カメラによる顔検知システム、4K8Kライブカメラ